

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 占冠PA工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	特記仕様書27-3-2 盛土工(1)種別において、盛土工B1の使用先は本線及び迂回路盛土箇所路体となっております。 一方、(2)材料においては、盛土工Bの材料の使用箇所は、迂回路部路体、本線部下部路床・路体となっております。 どちらが正しいでしょうか。	盛土工Bの使用箇所は、本線部及び迂回路部盛土箇所下部路床・路体となります。
2	設計図 雑工 No.10仮設防止柵・仮設目隠し板A詳細図および参考図迂回路施工ステップ図では、仮設防護柵の位置が路側線から1750mm、鋼矢板設置位置が路側線から2500mmとなっております。 仮設防護柵の幅が約400mmとすると鋼矢板芯から防護柵まで350mmとなり、バイブロハンマーで所定位置まで打設する際に支障します。 鋼矢板施工時は防護柵の位置を路側線側に移動できると考えてよろしいでしょうか。 また、路側線からどれだけの位置まで、移動させることができるでしょうか。	ご認識のとおりです。 なお、仮設防護柵の位置は路側線から1750mmとなりますが、鋼矢板施工時の仮設防護柵の位置は路側線から750mmの位置まで移動可能と想定しています。
3	数量明細書の道路掘削パーキングエリアの土砂A・表土A・軟岩Aが、それぞれ159,089.7m ³ ・18,431.9m ³ ・87,514.2m ³ となっておりますが、その内訳の一項目であるB2ランプ数量が横断図から約63,170.4m ³ ・7,389.9m ³ ・21,892.2m ³ となりました。 設計計算書数量記載のSTA.-0+90部を過大に計上ではないでしょうか。設計数量の根拠が不明なため、土砂A・表土A・軟岩AのAランプ・Bランプ・B2ランプそれぞれの設計数量をご教示ください。 合わせて、盛土工各種パーキングエリアB2ランプの設計数量をご確認お願いします。	数量に誤りがありましたので、後日訂正致します。

番号	質問事項	回 答
4	<p>数量明細書の道路掘削表土A（付帯工部）2,552.4m³の内訳は、横断図より本線アクセス路計上の約836m³、付帯図外部アクセス路計上の約1,356m³、付帯図側道計上の772m³で合計2,964m³となりました。</p> <p>差異が約412m³あるため、各所の設計内訳数量をご教示下さい。</p>	<p>数量算出範囲は、側道：STA.815+42.553～819+00、外部アクセス路：STA.819+00～826+00となり、道路掘削 土砂（表土）Aは、側道：432.7m³、外部アクセス路：2,119.7m³となります。</p>
5	<p>数量明細書の道路掘削土砂A（付帯工部）8,071.7m³の内訳は、横断図より本線アクセス路計上の約2,290m³、付帯図外部アクセス路計上の約5,520m³、付帯図側道計上の261m³で合計8,071m³となりました。</p> <p>各所の数量は前記の通りでのお考えでしょうか。各所の設計内訳数量をご教示下さい。</p>	<p>数量算出範囲は、側道：STA.815+42.553～819+00、外部アクセス路：STA.819+00～826+00となり、道路掘削 土砂Aは、側道：619.6m³、外部アクセス路：7,452.1m³となります。</p>
6	<p>パーキングエリア各所及び本線PA右部分の築堤盛土は、路体数量および盛土工A1に計上でしょうか。</p> <p>盛り土区分をご教示下さい。</p>	<p>路肩部の路体築堤盛土及び路体外盛土は道路掘削となります。</p>
7	<p>特記仕様書27-3-2の盛土工B1について、ホロカトマムトンネル工事からの運搬時期は令和6年7月～令和7年7月になっています。一方、概略工程表での占冠PA工事の土工開始時期は令和7年7月からになっていますが、仮置きを想定しているのでしょうか。</p> <p>仮置きの場合、仮置き場での積み込み・運搬の費用は占冠PA工事で計上するのでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
8	<p>閲覧(貸与)資料の02_本流東地区道路詳細設計 REPORT14(P2-32～33) B2ランプ土量計算書において、STA.-1+0.000～-0+90.000の測点間距離が90mと記載されていますが、10mの誤りであると思います。</p> <p>上記土量計算書の数量と【数量明細表】のパーキングエリアの数量(道路掘削、盛土工)が近いことから、積算数量の算出においても同様のお間違いをされている可能性がありますので、ご確認願います。</p>	<p>数量に誤りがありましたので、後日訂正致します。</p>